

農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版

農林水産省所管「農地・水・環境保全向上対策」の活動組織が下野市では4地区誕生し、いよいよ共同活動を本格的にスタートさせました。

5月1日(木) 仁良川の里保全会(会長 黒川英代氏)では、江川の中の清掃を実施しました。仁良川地区の中心を流れる江川では、十数年ぶりの清掃となり、ビニール類や缶・ビンなどたくさんの廃棄物が回収され、きれいな江川に生まれ変わりました。また、5月25日(日)には、小雨模様の中、柴地区環境保全会(会長 早瀬智之氏)では、恒例の東方台地コミュニティ推進協議会との共同作業として、柴用水法面の除草作業、水門のごみ清掃、水路法面にヒガンバナの球根植えなどを行いました。同日、石橋南部環境保全会(会長 布施俊男氏)では、地域の一斉清掃後、急傾斜の水路法面7箇所を除草や水路管理をしやすいように大谷石で階段を造る作業を行いました。

今後も、この「農地・水・環境保全向上対策」を通し、各地域の特性に合わせた環境保全や景観形成活動を展開していきますので、ご協力よろしくをお願いします。



仁良川の里保全会 江川清掃の様子



柴地区環境保全会 法面にヒガンバナ植え



石橋南部環境保全会 設置された石階段

南河内公民館3講座(家庭教育セミナー・大人の総合学習・ゆうがお大学)合同開講式

5月18日(日) 南河内公民館では3講座合同開講式が開催されました、この3講座は南河内公民館の主要講座であり、例年開講日が近く、また、昨秋合同でゴスペルコンサートを開催したところ大変好評でしたので、開講式も合同で何か記念になるイベントで“開講に花を!”と、今年度初めて開催しました。

開催日が5月15日の沖縄本土復帰記念日に近かったことから、沖縄にちなんだイベントを企画し、民謡からポップスまで幅広い沖縄音楽を演奏する金城賢&サラバンジと、沖縄の手踊り“エイサー”と沖縄太鼓を披露する栃木エイサーシンカ琉和、さらに金城氏が特別ゲストとして、乙女椿という女性4人組を沖縄から招いて、歌と琉球舞踊と愉快的語りで、会場はおおいに盛り上がりました。

当日は、受講生とその家族、友人、広報で開催を知った一般の方、合わせて200人もの観客が会場を埋め尽くし、アンコールでは全員で『花』を合唱、ステージと一体になり、笑顔あり、涙ありのコンサートは幕を閉じました。

沖縄サウンドに酔いしれる受講生



迫力ある沖縄太鼓に合わせてエイサーを披露



<混合一般の部優勝>
上昇気流



<女子の部優勝>
レインボー

3月16日(日)に栃木県インディアカ大会が鹿沼総合体育館で開催され、下野市から参加した2チームが見事優勝し、11月に開催される関東甲信越大会の出場を果たしました。両チームの活躍を期待しています。

インディアカ大会で
2チームが優勝